

横須賀を熱くする



山本けんじゅ

山本けんじゅ後援会事務所 横須賀市大矢部2-2-9-3 Tel&Fax.046(890)0265

1981(昭和56)年4月8日生(34歳)

大矢部中学校卒業、横須賀市立工業高校(現・横須賀総合高校)卒業、帝京大学経済学部卒業

2002(平成14)年…読売ジャイアンツ入団。引退後、野球コーチング勉強のためオーストラリアに在住

2008(平成20)年…株式会社サンリツ入社(輸出入業務担当)

2011(平成23)年…株式会社エレクトロデザイン入社(野球スクール運営)、同社勤務中、横須賀のスポーツ振興のためにNPO法人・ジャパンアスレチックアカデミー横須賀を立ち上げる。現在、専務理事

山本けんじゅ 検索



けんじゅ、3つの提言

① スポーツ環境の充実

① スポーツには…

健康増進や人格形成、チームワークで仲間への思いやり、くじけずあきらめない心、また、チャレンジすることで、目標や夢を持つことなど、たくさんの成長要素が含まれています。

特にゴールデンエイジと呼ばれる6~15歳までの子供たちに対して、より多くの経験と知識を与えるためにも現役アスリートや引退した元スポーツ選手に触れ合う機会と直接指導を受けられる、学校での外部指導授業を横須賀市独自で行いたいと考えます。

強く上手くなるにはその道のプロに習うのが一番の近道です。テクニックやマネジメント能力を積極的に地域スポーツや学校へ還元することで、新たな才能を伸ばし競技の世界で活躍してくれる青少年アスリートが多くなるだろうと考えます。

② 東京五輪に横須賀の選手を!

さらなるスポーツ施設の充実を!

6年後に迫った東京五輪。国が行う強化選手のトレーニング施設の誘致に横須賀市も名乗りを上げています。

この誘致合戦に勝利できれば横須賀市は新たにスポーツの街として活性化をし、今後の青少年アスリート達にとっては大きな起爆剤となります。

これを機に地元出身選手が日本代表で戦うためにもジュニア世代への積極的なアプローチが求められます。そこには横須賀総合高校をはじめとする市内各高校はスポーツクラスの新設もしくは、強化に特化した仕組み作りが必要です。

そして、同じく強く思うことは健常者スポーツ選手よりも、厳しいハンデを乗り越えさらに過酷なトレーニングと難しい競技にチャレンジするパラリンピック選手候補達にもサポートできる場の提供を横須賀市はすすんで提供をしていくべきです。

市を挙げて皆さんで誘致を成功させて、地元選手を応援しましょう!



横須賀リーフスタジアム(佐原)



③多種他競技において選手の活躍の場を!

サッカーではお隣の横浜市にはFマリノスがあり、相模原、町田にもJ3チームが存在します。こうした市民に近い存在のプロチームがあってもよいはずです。

地元企業や市民スポンサーのからの援助で立ち上げられたチームがJリーグにはあります。なでしこリーグに参戦でも良いのではないのでしょうか。

このようにスポーツには夢があり、幅広い世代皆で親しめる最高のツールなのです。

④横須賀から甲子園出場高校を出そう!

40万人都市で未だ甲子園出場が無いのは横須賀市だけといわれています。

ソフトボールは全国常連。なのに、ソフト専用球場すら無い…。硬式野球場は横須賀スタジアムのみ。現状では場所の取り合いです。

指導者の方々も一生懸命に子供たちへ指導をしてくれている。頑張っている選手たちに行政や地元企業からの後方支援が必要ではないのでしょうか…。



高校野球から少年野球・ソフトチームが一丸となり横須賀の野球をさらに盛り上げて甲子園出場を決める事が出来たら申し分ありません。

⑤おじいちゃん、おばあちゃんが生涯現役



まだまだ若いもんには負けない!と日々鍛えている中高年の方々や健康の為にスポーツで汗を流すお年寄りの方々は多くいます。

健康と生きがいを持つためのスポーツ活動の場を、今以上に拡大できる環境づくりをすすめ、生涯現役を貫いてもらいたいと考えます。



②手厚い子供支援政策で…

子供を産み育てやすい魅力ある街づくりをと横須賀市は取り組んでいます。子育て世代の取り合いで自治体間はもっと競争しても良いと思います。総合的に他の自治体に見劣りせず、横須賀市独自のものがあっても良いのでは…。

横須賀市の行う取り組みは中途半端なものが多いように感じます。他市に負けないためにも日本一おいしい給食の提供から、毎年グランプリを決めるようなイベントも行ったらどうでしょうか。

おむつやお尻拭きなど細かいものは一定範囲まで無料に。学童保育料金の引き下げと学校教室開放を実施。小児医療費は中学卒業までに引き上げてもらいましょう。一学年引き上げのために1億かかると言われていますが、無駄なハコモノ事業を早く終了させてどんどん子供達への支援にお金を使うべきです。とにかく子育て世代の家庭には優遇をお願いしたい。

ファーストマイホーム制度となるものがありますが、市外から横須賀市に家を建てる場合に24万



③観光・町おこし

新鮮でおいしい食材、海、山に恵まれた地形を使ったイベントができる土地です。わざわざ千葉や伊豆へ行くよりも近場でおいしい料理を提供するお店も多数ありますし、これをたくさんの方にPRして知ってもらいたい。

博多は屋台街有名ですが横須賀にもおいしいものが並ぶ屋台街があっても良いと思います。

軍港めぐりやどぶ板通りを併せたグルメツアー、その場で新鮮食材を提供するイベントを活発にしていきたい。

ビーチではサッカーやバレー、綱引きなど様々な競技の大会の開催をして、食との併せたことも十分可能です。こうした催しでよこすかの良いところを知って貰えれば中には横須賀に住みたいと移住される方もでてくるかも知れません。

